

FALプロジェクト概要



テーマ

「子どもの居場所づくり」と「若者が輝けるまちづくり」に取り組む

連携先

交野市福祉総務課、社会福祉法人交野市社会福祉協議会

主な活動場所

大阪府交野市

*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

子ども、居場所、若者、地域福祉、地域共生社会

活動内容 概要

みんなが支え合い、だれもが活躍できる地域(地域共生社会)の実現を目指し、

- ①夏休み期間中の子どもの居場所づくり
- ②若者が輝ける地域について対話する場づくり
- ③図書館を活用した居場所づくり(No.51とのコラボ)に取り組みます。

活動の目的

- ・大学生の「得意」を生かして子どもの居場所づくりに取り組む
- ・若者(中高大生)が地域について対話する場づくりに取り組む
- ・地域における「居場所」のあり方について考え、実践に取り組む

求める人材像

- ・子ども、若者が輝ける地域づくりに関心のある方
- ・地域のさまざまな人と関わってみたい方
- ・よりよい地域の姿について考え、実践できる方

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 多様な価値観、境遇を理解、想像し、寄り添う力
- ▶ 社会資源を活用して課題解決に取り組む力
- ▶ 企画から運営までを円滑にマネジメントする力

FALプロジェクト概要



テーマ

地域の担い手として大学生にできることを考え、実践する

連携先

寝屋川市役所、寝屋川市社会福祉協議会、みつわ会、浄土宗超泉寺、日本防災、八幡市役所、八幡市社会福祉協議会、和歌山市社会福祉協議会、紀美野町地域住民

主な活動場所

寝屋川市(大阪府)、八幡市(京都府)、和歌山市、紀美野町(和歌山県)
*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

居場所づくり、認知症、精神障がい、中山間地域、地域福祉、地域防災

活動内容 概要

だれもが支え合い、活躍できる地域共生社会の実現に向けて、大学生にできることを多角的に考え、実践します。各連携先と、下記のような活動に取り組む予定です。

寝屋川市役所、寝屋川市社協：認知症の方の人生をふりかえる「人生日記」の作成
みつわ会：寝屋川市内にあるカフェ「オアシス」のコミュニティスペース化
浄土宗超泉寺：寝屋川市内の寺院で実施するマルシェでのブース運営
日本防災：寝屋川市内の企業と連携した防災グッズの開発、防災教育の実施
八幡市役所、八幡市社協：認知症に関わる人(当事者・支援者・地域)との交流と認知症理解に向けたイベントの企画運営および情報発信
和歌山市社協：銭湯などの地域資源を活用した交流イベントの実施
紀美野町地域住民：山間部の生活道路維持活動(道掃除)、総合防災訓練

活動の目的

- それぞれの地域の想いを理解し、活動に真摯に取り組む
- 対象を意識した多様な情報発信を行う
- 地域共生社会の実現に向けて大学生にできることを考え、実践する

求める人材像

とにかくさまざまな実践に積極的に取り組みたい方!

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 多様な価値観、境遇を想像し、それらに寄り添う力
- ▶ 人や組織の「強み」を把握し、その活用方法を発想する力
- ▶ 情報の内容や受け手を意識したさまざまな情報発信を行う力

FALプロジェクト概要



テーマ

学校へいけない・いけない子たちの居場所をつくる

連携先

社会福祉法人 有田市社会福祉協議会

主な活動場所

寝屋川市(大阪府)、八幡市(京都府)、和歌山市、紀美野町(和歌山県)
*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

居場所づくり、認知症、精神障がい、中山間地域、地域福祉、地域防災

活動内容 概要

だれもが支え合い、活躍できる地域共生社会の実現に向けて、大学生にできることを多角的に考え、実践します。各連携先と、下記のような活動に取り組む予定です。

寝屋川市役所、寝屋川市社協：認知症の方の人生をふりかえる「人生日記」の作成
みつわ会：寝屋川市内にあるカフェ「オアシス」のコミュニティスペース化
浄土宗超泉寺：寝屋川市内の寺院で実施するマルシェでのブース運営
日本防災：寝屋川市内の企業と連携した防災グッズの開発、防災教育の実施
八幡市役所、八幡市社協：認知症に関わる人(当事者・支援者・地域)との交流と認知症理解に向けたイベントの企画運営および情報発信
和歌山市社協：銭湯などの地域資源を活用した交流イベントの実施
紀美野町地域住民：山間部の生活道路維持活動(道掃除)、総合防災訓練

活動の目的

- ・学校へいけない・いけない子たちの想いを理解する
- ・それぞれの想いに寄り添う居場所づくりに取り組む
- ・地域に存在するさまざまな生きづらさに視野を広げた活動に取り組む

求める人材像

学校へいけない・いけない理由はさまざまです。
多様な価値観、趣味や特技をもった方に参加していただき、学校へいけない・いけない子たちと社会をつなぐ架け橋になってもらいたいと思います。

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 多様な価値観、境遇を想像し、それらに寄り添う力
- ▶ 人や組織の「強み」を把握し、その活用方法を発想する力
- ▶ 情報の内容や受け手を意識したさまざまな情報発信を行う力

FALプロジェクト概要



テーマ

アフターコロナ時代の自治会活動継続のために

連携先

八幡市(行政)

主な活動場所

男山団地・八幡市役所

*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

自治会(町内会)・団地・高齢化・ニュータウン・外国人・多文化共生

活動内容 概要

京都府八幡市男山地域をフィールドとし、男山団地等の自治会の現状と課題を学び、現地の自治会と協働し、夏祭りなどのイベント運営を経験する。市役所や自治会と協議し、より地域の現場に入り込んだ連携の在り方を探る。

活動の目的

- ・アフターコロナ時代の自治会・町内会の現状と課題を知る。
- ・高齢化した住宅団地のコミュニティの状況を体感する。
- ・自治会を始めとする地域住民と外国人住民との共生社会実現に向け、課題や解決方法について考える。
- ・市役所職員の仕事に触れ、具体的に理解する。
- ・若い力とアイデアで、自治会のイベントを企画・運営する。
- ・本プロジェクトは今後長期にわたり、発展しながら継続していくことを予定している。そこで今後より地域の現場の入り込んだ形での、学生と地域の協働のあり方を考え、提案する。

求める人材像

- ・地域のコミュニティの在り方、多文化共生といった課題に関心がある人。
- ・市民と協働したイベントの企画や運営に興味がある人。
- ・地方公務員の仕事に関心のある人。

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 目標を達成するための力
- ▶ 他者と協働するための力
- ▶ 新たな価値を創造する力

FALプロジェクト概要



テーマ

子どもたちの「自己実現」にともに取り組み

連携先

NPO法人ろーたす

主な活動場所

NPO法人ろーたす(大阪市住吉区)

*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

不登校、引きこもり、フリースクール、居場所づくり、自立支援

活動内容 概要

不登校・引きこもり・困窮世帯などの子どもたちを対象に、フリースクール、居場所づくり、無料の学習支援、夕食提供、地域イベントの企画・運営などに専門知識をもった法人スタッフ、他大学のボランティアスタッフとともに取り組みます。

活動の目的

- ・子どもたちの想いに寄り添いながらそれぞれのイベント、活動に取り組む
- ・不登校、貧困、人間関係の希薄化といった社会課題に実践を通じて理解する
- ・スタッフ、他大学生と協働しながら子どもの「自己実現」をサポートする

求める人材像

子どもに元気と勇気と希望を与えられる人!

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 大学ではできない経験が得られる
- ▶ 志を同じくした仲間に出会える
- ▶ 社会課題に直接アプローチできる

FALプロジェクト概要



テーマ

障害者ボランティア団体「阪喉会」会員の生き方をネットで発信する

連携先

公益財団法人阪喉会(はんこうかい)喉頭摘出同病者ボランティア団体

主な活動場所

阪喉会肥後橋教室、大阪府社会福祉会館ほか
*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

セルフヘルプグループ、障害者、アクティブ・エイジング、取材、動画撮影

活動内容 概要

「阪喉会」は、喉頭摘出者(発声できない)かつがんサバイバーかつ(ほとんどが)高齢者である会員の団体である。会員ボランティアが同病者である会員に代用音声を指導することによって生活再建・社会参加を支援している。喉頭摘出者に出会うことも少なく、このような団体があることもあまり知られていないのではないだろうか。そこで代用音声教室、定期総会などの様子や、代用音声の指導員や役員等へのインタビュー内容などを学生目線でWEBサイト等を使って発信する。

活動の目的

- ・「社会的弱者」と言われてしまいがちな人々を正しく理解し、協働関係を築く。
- ・動画撮影、インタビューの倫理、ネットを通じた配信のルールを守り、プライバシー等に配慮した問題のない情報発信をする。
- ・発信内容、方法を考案し、連携先 WEBサイトから効果的に配信する。

求める人材像

障害者や高齢者の実態に興味・関心のある人を求めます。偏見や勝手なイメージにとらえず、まずは知ることから始めましょう。皆さんが感じたことを大事にし、皆さんの視点・想いを重視して阪喉会及び会員の生き方を発信していきます。連携先様も学生目線による発信を望んでいらっしゃいます。

スマホでの動画撮影・編集経験があるにこしたことはありませんが、肝心なのは阪喉会の活動のあり方を大事にし、会員の皆さんとの会話から何を、どのように発信するかを考えることです。思いやりとコミュニケーションを大切にできる人、ルールを守ることができる人、コツコツと課題に取り組める責任感のある人を求めます。連携先様や仲間とともに模索、協力しながらやっていきましょう。

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ コミュニケーション能力、傾聴力、人間関係形成力、日本語力、発信力・伝達力、出あった人・こと・モノから価値を創造する力、他者のニーズや欲求を理解する力など。